

事務事業チェックシート

事務事業No 1 事業名 自治功労章贈呈式事業

分野別目標	3	市民と地域がつくる元気なまち
政策	5	地域コミュニティの充実
施策	1	地域コミュニティの充実
基本方針	1	コミュニティ活動への支援

事業種別	継続	主な事務事業	
事業期間			～
事業実施の根拠法令	和歌山市自治功労者礼遇条例		
関連個別計画			
担当課・担当課長 (Tel)	秘書課	課長	尾崎拓司 (内2407)
関連課			

[事業基本情報]

事業区分(1)	事業経費	○	管理経費	
	その他			
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務	
	その他			
会計・予算区分	会計		一般会計	
	款		総務費	
	項		総務管理費	
	目		一般管理費	
	大事業		秘書課事業	
事項		自治功労章贈呈式		

「3つの約束・44の約束」との関連性

3つの約束	産業を元気に	まちを元気に	人を元気に	非該当
			○	
44の約束				○

1 事業概要及び実施内容

事業概要	事業目的（「誰・何」をどういう状態にする」ための事業か）	事業内容				
	自治行政の振興並びに公益増進について功績が顕著であった者に自治功労章を贈り礼遇することで、自治功労者に敬意と感謝の意を表するとともに、その事績を広く市民に紹介することで地方自治の発展に対する市民の意識の高揚を図る。	自治行政の振興並びに公益増進について功績が顕著であった者を調査した上で、開市記念日である7月5日に自治功労章贈呈式を開催し、その功労者に対し自治功労章を贈呈するとともに、過去の自治功労章受章者で本年中に80歳、90歳、100歳の長寿を迎えられる方に長寿記念品を贈呈し礼遇する。				
実施内容		平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
		自治行政の振興並びに公益増進について功績が顕著であった28名に対し、自治功労章を贈呈した。また、自治功労者のうち、平成25年中に80歳、90歳を迎えた45名に長寿記念品を贈呈した。	自治行政の振興並びに公益増進について功績が顕著であった75名に対し、自治功労章を贈呈した。また、自治功労者のうち、平成26年中に80歳、90歳を迎えた54名に長寿記念品を贈呈した。	自治行政の振興並びに公益増進について功績が顕著であった30名に対し、自治功労章を贈呈した。また、自治功労者のうち、平成27年中に80歳、90歳、100歳を迎える86名に長寿記念品を贈呈した。	自治行政の振興並びに公益増進について功績が顕著であった者に対し、自治功労章を贈呈する。また、自治功労者のうち、平成28年中に80歳、90歳、100歳を迎える方に長寿記念品を贈呈する。	自治行政の振興並びに公益増進について功績が顕著であった者に対し、自治功労章を贈呈する。また、自治功労者のうち、平成29年中に80歳、90歳、100歳を迎える方に長寿記念品を贈呈する。

2 事業コスト

事業費等 千円		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度		
		当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算	計画	決算	
	事業費	1,932	820	2,455	1,765	2,470		2,470		2,470		
	伸び率 (%)	-	-	27.1%		0.6%		0.0%		0.0%		
	人件費	常勤職員	2,027	2,250	2,250	2,339	2,339		2,339		2,339	
		非常勤職員		101	101	123	123		123		123	
		小計	2,027	2,351	2,351	2,462	2,462		2,462		2,462	
	国庫支出金											
	県支出金											
	市債											
	その他											
	一般財源 (税等)	1,932	820	2,455	1,765	2,470		2,470		2,470		
所要人数	常勤職員	0.27	0.30	0.30	0.31	0.31		0.31		0.31		
	非常勤職員		0.05	0.05	0.06	0.06		0.06		0.06		
主な予算内訳		賞賜金 942千円、消耗品費 1,351千円、食糧費 107千円										

3 目標及び実績

活動指標	指標名及び達成状況					平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	
	調査回数	年度目標値				1	1	1	1	1	
		実績値				1	1	1			
	単位	回	全体目標値		1	全体目標達成度		100.0%	100.0%	100.0%	
			年度別達成度		100.0%	100.0%	100.0%				
	贈呈式開催回数	年度目標値				1	1	1	1	1	
実績値				1	1	1					
単位	回	全体目標値		1	全体目標達成度		100.0%	100.0%	100.0%		
		年度別達成度		100.0%	100.0%	100.0%					
成果指標	自治功労章贈呈式における自治功労章受章者数					年度目標値	28	75	30		
						実績値	28	75	30		
	単位	人	全体目標値		-	全体目標達成度		-	100.0%	100.0%	100.0%
			年度別達成度		100.0%	100.0%	100.0%				
	自治功労章贈呈式における長寿記念品受賞者数					年度目標値	45	54	86		
						実績値	45	54	86		
単位	人	全体目標値		-	全体目標達成度		-	100.0%	100.0%	100.0%	
		年度別達成度		100.0%	100.0%	100.0%					

4 事業の評価

評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか		増加している	○	横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か	○	現行の手段でよい		一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か	○	市が行うべき		他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要はあるか		急いで取り組む	○	中長期的に取り組む	緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか	○	できる		あまりできない	できない
[有効性]成果目標はどの程度達成しているか	○	達成している(90%以上)		おおむね達成(70~90%未満)	達成していない(70%未満)
[有効性]上位施策への貢献度	○	重要かつ高い貢献度がある		一定の貢献度がある	貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか	○	できない		制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し		適正	○	負担は求められない	見直しが必要

5 今後の方向性 (担当課評価)

事業内容の方向性	充実			○	
	現状維持				
	縮小				
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性					

担当課評価の根拠	和歌山市自治功労者礼遇条例の改正 (H26. 4. 1) により、対象者の国籍要件を削除し、職に新たに「人権擁護委員」、「和歌山市社会福祉協議会の会長、副会長」、「地区社会福祉協議会の会長」を追加し、自治功労者の対象の拡大を図った。平成27年度は現状維持で実施する。
「見直し」 「改善」案	今後も地域に貢献されている方について、自治功労者の対象として認められる職を追加する等、拡大を図りたい。 長寿記念品受賞者に関しては、年々増加しており、今後事業費の増加が予測されるため、将来的には見直す必要がある。